

2010年度 アニュアルレポート

| | | |
|----------------------|--------------------|----------------------|
| p2 事業分野別の概況 | p4 クローズアップ 2010 | |
| p8 寄付醸成 プロジェクト | | p9 情報公開 |
| p10 組織概要 | p11 支援実績の推移 | p12 財務報告 |
| | | p17 ボートレース場 一覧 |

役立ってます、ボートレース。

ありがとう、ボートレース!

日本財団は、
ボートレースの売上を財源に
人々のよりよい暮らしを支える活動を
推進しています。



社会福祉・教育・文化などの
活動への支援



海や船にかかわる
活動への支援



海外における人道活動や
人材育成への支援



ごあいさつ

3月11日、日本は未曾有の大地震と大津波により甚大な被害に見舞われました。岩手、宮城、福島の前北3県を中心に多くの尊い命を失い、行方の知れない方も未だ多く、謹んで哀悼の意を表します。

この東日本大震災に対し、国内はもとより海外からも多くの寄付や救援物資が寄せられ、また救援隊はじめボランティアが被災地支援のために活動して下さっています。これらの支援活動は被災者に復興への希望を与えることでしょう。

日本財団は震災直後に被災者を支援するための寄付の窓口を開設しました。海外に対しては14言語で呼びかけ、インドで物乞いを強いられたハンセン病回復者や過酷な大地で畑を耕すアフリカの貧農たちも日本のために貴重なお金を寄付して下さいました。またチェコのハベル元大統領やヨルダンのハッサン王子、ノーベル平和賞受賞者のダライ・ラマ師はじめ世界的指導者が日本に対し連帯を表明されたことは被災者だけでなく日本国民を勇気づけることになりました。

日本財団は、これら支援者の気持ちを被災者にいち早く届けるべく、死者・行方不明者のご遺族・ご家族に対して弔慰金・見舞金として職員自らが被災地に入り一人ひとりに現金を手渡してきました。NPOやボランティアに対する支援は5月末までに400件を超え、時間の経過とともに避難所などでの生活支援が中心だった活動は、被災者の心のケアや生活の質の向上へと変化しています。また漁業基地とも言える三陸の復興を図るため、漁船や漁具整備のための融資制度を新設、さらに小型漁船の修理場の設置など漁業支援も打ち出しています。

日本財団は阪神・淡路大震災以降、地震や洪水、外国船舶によるオイル流出事故など28回の災害に出動してきた実績があります。またNPOやボランティア団体への支援はこれまで58,000件にもものぼり、豊富なノウハウを有しております。こうした経験から必要となる支援策を講じることができそうですが、日本財団が単独でNPOを支えられるわけではありません。

国家が巨大な財政債務を抱える今日、その一翼を担えるのが企業であり、企業はよき市民でなければなりません。消費者、そして就職を希望する学生の目も変わり、社会のために貢献する企業が求められる時代になりつつあります。

日本財団はNPOの活動を活性化させるとともに、さらに企業のCSR活動を刺激し、企業とNPOを結びつける媒体の役割を果たしたいと願っております。



阪神・淡路大震災は“ボランティア元年”と呼ばれましたが、私は東日本大震災を“寄付元年”と位置づけ、NPOやボランティアの活動を企業、そして国民が支える社会を目指し、日本に寄付文化が根付く契機になるよう努力して参ります。

日本財団会長
笹川 陽平

2010年度の活動

私たちは、こんな活動をしました。

公益・ボランティア

住みなれた街で暮らす、その願いをかなえるために。

障害の有無や年齢にかかわらず、誰もが安心して街で暮らすためには、必要な時に適切なサポートを受けられることが大切です。

例えば、仲間と顔を合わせるデイサービスセンターや、生きがいを感じられる職場が身近にあれば、安心して生活を送ることができます。

また、職場や病院への外出に、送迎車両も欠かせません。

私たちは、改修による福祉施設の整備や福祉車両の配備を通じて、地域の福祉活動の推進を支援しています。



地域の絆・つながりを育むために。

人と人との絆を深め、元気のある地域づくりを目指して、行政やNPO、大学など多様な組織と協働して行う事業を推進しています。

2010年度は、防災機能を持つ森づくりや地域の課題解決のためのチャリティコンサートの開催、人のつながりを作る青パト配備事業などを支援しました。また、学生の豊かな発想や活力をカタチにするため、学生ボランティアセンターを立ち上げました。

様々な垣根を越えて、より良い社会づくりを目指します。



海洋

次世代に海を引き継ぐために。

昨今、日本では海離れが進んでいます。そこで私達はより多くの人々が安心して海に親しめる機会を創るため、2010年度は宮崎市で渚の交番の設置、積丹町で美しい海づくり事業を実施しました。

これらの特徴は、「地域連携」の視点から地域における人のつながりを活かし、縦割りの壁を越えて「分野横断型」で取り組まれている点です。

今後は、このような活動により、海を次世代に引き継ぐ活動が活発になることが期待されます。



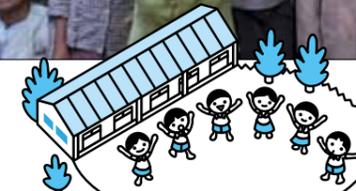
国際協力

私達を取り巻く世界の未来のために。

私達は、主に開発途上国において、食糧、医療、教育など、人が人として生きていく為に必要不可欠なニーズを満たす活動を支援しています。

2010年度も引き続き医療へのアクセスが困難な人々に伝統医薬品「置き薬」を配布するシステムをアジア各地で実施いたしました。

また、先進国を含む、世界のあらゆる国における我が国についての正しい理解を促進するため、世界の図書館に日本の文化、経済、政治などについての図書を寄贈しています。





支援を受けた方々の声



植生に合った学校防災林を生徒中心で整備しました。



困っていたことは何ですか?

私 たちの会は啓明学院に通う子供たちの保護者の会ですが、主に学校の花壇を中心に四季の花で学校の庭園・植栽を美しく飾るガーデニングを楽しみながら、生徒たちや学校を訪問くださるお客さまに美しい花や自然を愛でる心を持っていただきたいと思って活動しています。

学校は近くの山を切り取って平地にした場所にあり、法面に囲まれた高台のような土地にあります。しかし、その法面は土地が痩せていることが原因か、今までの植樹方法ではうまく木が育ちませんでした。そのうえ、学校を取巻く法面は広くて、学校としても学費と寄付金、補助金でやっと生徒の教育資金を賄っておられる状況下、キャンパスを取巻く法面の植栽を整備する資金は捻出できない状況でした。



助成金をどう使いましたか?

こ の度、日本財団より紹介いただいた横浜国立大学名誉教授の宮脇先生の植樹方式により、キャンパス周辺の植生に合わせて、しかも防災に役立つ方式で、学校防災林の整備を実施することが出来ました。

この学校防災林の整備に際しては、宮脇先生に植樹の方法や意義についてご講演いただき、高校3年生の卒業記念植樹も兼ねて、生徒約200人と保護者・教職員50人余りで植樹祭を実施しました。生徒たちは初めての体験に10年後の森の姿を楽しみに想像しながら参加し、また学校は1995年に阪神大震災を経験した神戸にありますので、近隣の方々にもご賛同のもとご参加いただき、今までにない繋がりが出来ました。

助成していただいた上に、立地に適し、しかも将来に役立つ植栽整備方法をご紹介くださった日本財団には本当に感謝しています。キャンパスの周囲は約1kmあり、今回の整備はまだ全体の1/6程度です。今後、できればキャンパスの周囲全体を宮脇方式の防災林で囲みたいと願っています。

団体名：啓明学院育友会
事業名：防災林としての学校林の再生
支援金額：4,326,000円



移動販売車での「妖怪焼き」が大評判です。



困っていたことは何ですか?

私 達の施設は、知的障害の方が特別支援学校高等部を卒業され一般就労されなかった方の働く場としてパン工房等を運営しています。利用者の方々の障害特性や希望に沿うため、就労支援や技能向上など7部門に分かれて支援を行っています。作業で完成した商品を施設店舗で販売しその利益を工賃として利用者の方にお支払いしています。販売先は地域の方ですが、私たちの活動を知っていただくことに限界があることや、利用を希望する障害のある方が増えたこと、作業の幅を広げられないなどの問題点が出てきました。そこで調布市在住で地域との関わりも深い水木しげる様のご協力をうけ、ゲゲゲの妖怪焼きを昨年3月「ゲゲゲの女房」放送と同時に販売させていただくことになりました。現在は施設店舗で販売していますが、より多くの皆様に私たちの活動を知っていただき障害のある方の活動の充実につなげるために、移動販売車を申請しました。



助成金をどう使いましたか?

た だいま、新たな販売場所を検討中です。できれば調布で水木しげる様ゆかりの地、深大寺で販売を行う事が出来たらよいと思い関係者の方に相談しています。また妖怪焼き移動販売車は、新しい機械が備え付けられていますので、秋の涼しい時期に本格的に販売ができるように、現在、利用者の方は焼き加減や接客方法を特訓中です。先日施設店舗5周年行事の時に移動販売車で販売し、好評をいただきました。また、秋の販売を目指して新商品を試作中であり、今後を楽しみにしていただきたいと思います。

団体名：社会福祉法人 新の会 はあと・ふる・えりあ
事業名：障害者支援施設（就労継続B）の車両整備
支援金額：4,210,000円



支援を受けた方々の声



「渚の交番」が明るい海浜と地域活性の中心になっています。



困っていたことは何ですか?

宮 崎では、近年のサーフィンブームやマリンスポーツ・ビーチスポーツの振興により、年々海浜利用者が増加していました。そんな中、海浜利用のモラルの低下、車上荒らし等の犯罪、水難事故の増加などが目立ち始め、地域住民からの苦情やマリンスポーツ愛好家間のトラブルが発生するようになりました。

また、関西や九州北部からの修学旅行生や観光客の増加に伴い、海や山の大自然を活かした青島地区のアクティビティの利用者が増えているにもかかわらず、その受け入れ体制が十分に整っていないことが問題となっていました。

そこで、地域全体で連携し、地域性を活かした海浜活動の総合窓口となる拠点を設置して、分野にとらわれずに活動したいと考えました。



助成金をどう使いましたか?

各 種マリンスポーツ団体の協力を得ながら、民間パトロール（青パト）を実施することにより、安心・安全な海浜環境に改善できました。

また、宮崎市の海水浴場管理棟を宮崎市観光協会の協力のもと改修し、活動拠点となる「渚の交番」を設置することにより、夏以外でも、様々なスポーツイベントを開催したり、クリスマスシーズンにはキャンドルイベントを開催したりと、年間を通じて地域住民の方に活用していただき、「海浜が明るくなった。ありがとう」といった言葉も増えました。

そして、何よりも「渚の交番」がきっかけとなって、海と人、人と人、団体と団体といった「繋がり」が広がりました。地域連携や地域活性化の中心（ハブ）となる効果も生まれました。

2011年度も、次世代に海を引き継ぐために、海を守る意識の啓発活動に重点を置き、子供からお年寄りまでが世代を問わずに集う「渚の交番」という海浜文化を根付かせていきたいと思っています。

団体名：宮崎ライフセービングクラブ他1団体
事業名：「渚の交番」活動の実施等
支援金額：56,585,000円



日本の技術がカンボジアで文化の継承と村おこしにつながっています。



困っていたことは何ですか?

カンボジア・コンボンチュナン州では、女性は伝統的に土鍋や素焼きの陶器を作って生活していますが、十分な収入を得ることができていません。その彼女たちの中で、素焼きではなく釉薬を塗った付加価値の高い陶器を作り、収入の確保と自立を目指したいという機運が高まってきました。一方、日本の益子焼の専門家がその技術指導に名乗りをあげてくれたため、日本財団の助成金に申請しました。カンボジアではアンコール時代に釉薬陶器が作られていましたが、その後の内戦が原因で技術が継承されず、幻の陶器となってしまいました。本事業では、現代のカンボジア人が、再び釉薬陶器作りに誇りを感じ、自信をつけるための活動を展開しています。技術指導が中心ですが、一歩進んでそれを軸に収入が得られ、経済活動の一環に組み込まれる流れを、このプロジェクトでは作っていきたくと思っています。



助成金をどう使いましたか?

村の参加メンバーは、専門家の指導のもと、基本的な技術から釉薬の作り方、高温焼成の方法、さらにはデザイン、販売、マーケティング意識に至るまで、この仕事を生業としてやっていく上での一連の活動を常に学んだり、話し合ったりするようになりました。ワークショップを重ねるうちに、自分たちのアイデアでデザインをしてみたり、高温焼成を講師の手を借りずに成し遂げたりと、自分たちでこの仕事を運営していこうという意識が高まってきました。また、作品を首都プノンペンのショップで売ることで、以前よりも安定的な収入が得られるようになってきました。今後はこの活動が村全体に波及し、窯業による活性化、強いては村おこしにつながる活動を目指すとともに、クメールの伝統的な芸術センスを高め、新たな釉薬陶器文化を作る一歩を踏み出していきます。

団体名：カンボジア伝統陶器プロジェクト
事業名：カンボジア伝統陶器復興プロジェクト
支援金額：17,540,000円



日本に寄付文化を定着させたい。

これまで、社会問題の解決は、国や行政が主導して進めてきましたが、財政破綻や、複雑化する社会問題に対応が追いつかなくなりました。私たちは、善意の寄付を預かり、NPOのアイデアとスピードで新しい問題解決の方法を提案していきます。

夢の貯金箱

「夢の貯金箱」は、素晴らしい日本を次世代に残したいという多くの皆さまの想いに支えられ順調に成長しています。2010年度は63,530,328円の寄付をお預かりし、法律や制度の狭間におかれ孤立している方々、犯罪被害者や自死遺児の支援、ホームホスピスの推進などを行いました。

小さなお金でも、アイデアとスピードを「てこの原理」として大きな成果にかえられることを示していくことを私たちの使命としています。寄付者が主役の社会貢献活動で子どもたちが夢を持てる素晴らしい日本を残していきます。



最期まで自分らしく生きるくホームホスピスへの支援>



1本10円寄付<夢の自動販売機>

TOOTH FAIRY

日本歯科医師会(大久保満男会長)の全面的な協賛を得て進めている「TOOTH FAIRYプロジェクト」。治療で不要となった歯科撤去金属に含まれるレアメタルを売却し、活動の原資としています。

ご参加いただいている歯科医院はすでに3,535医院。2010年度に集められた寄付金は128,632,706円にもなりました。

歯科医師のさらなる社会貢献として活動が広がっています。昨年度はミャンマーの学校10校が完成しました。また、日本で初めての小児ホスピス、小児がん専門施設の建設を決定しました。

金属のご提供をいただいた多くの患者の皆様にも心から感謝申し上げます。



情報公開にも力を入れています。

社会に対して常にオープンで透明であるために、事業計画や報告、予算、決算はもとより、助成事業の公募情報、事業の現場風景やその成果を公開し、ポートレースのお金が社会に役立てられていることを、広くタイムリーに発信することができるウェブサイトの充実に力を入れています。

公式サイト



日本財団のあらゆる情報を紹介しています。

日本財団図書館



助成事業の成果物を紹介しています。

ツイッター



一般の方々と気軽なコミュニケーションツールとして活用されています。

日本財団ブログ・マガジン



国内外の多岐にわたる助成事業の情報をリアルタイムでお届けしています。

日本財団テレビ

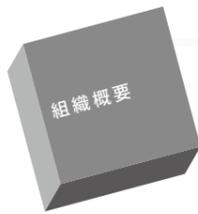


YouTubeを活用し、助成事業の現場映像を配信しています。

フェイスブック



一般の方やNPO団体との交流サイトとして活用しています。



日本財団の概要

代表者：会長 笹川陽平

所在地：〒107-8404 東京都港区赤坂1-2-2

総合案内（コールセンター） Tel.03-6229-5111 Fax.03-6229-5110

公式サイト <http://www.nippon-foundation.or.jp>

携帯専用サイト <http://tnfd.jp>

設立年月日：1962年（昭和37年）10月1日

日本財団は、ボートレース事業からの拠出金をもとに、船舶の技術開発や海上の安全確保、福祉や教育の向上、人道援助や人材育成を通じた国際貢献など、人々のよりよい暮らしを支える活動を推進しています。

基本財産：288億円（2011年3月末日）

人員構成：役員10名

評議員9名

アドバイザー会議委員9名

職員97名/平均年齢38才

（2011年6月1日現在）

| 役員 | | |
|---------|------|------------------|
| 役職名 | 氏名 | |
| 会長 | 笹川陽平 | 元・日本財団 理事長 |
| 理事長 | 尾形武寿 | 元・日本財団 常務理事 |
| 常務理事 | 海野光行 | 元・日本財団 海洋グループ長 |
| 常務理事 | 大野修一 | 元・日本財団 国際部長 |
| 常務理事 | 佐藤英夫 | 元・日本財団 国際協力グループ長 |
| 常務理事 | 田南立也 | 元・日本財団 国際協力グループ長 |
| 常務理事 | 前田 晃 | 元・日本財団 経営企画グループ長 |
| 監事 | 金子 明 | 元・日本財団 総務グループ長 |
| 監事 | 三浦一郎 | 元・日本財団 常務理事 |
| 監事（非常勤） | 吉田 博 | 税理士 |
| 計10名 | | |

| 評議員 | | |
|-------|-----------------------|--|
| 氏名 | | |
| 新井哲二 | 丸亀市長 | |
| 河村幹夫 | 多摩大学統合リスクマネジメント研究所 所長 | |
| 下村のぶ子 | (株)海竜社 代表取締役社長 | |
| 田久保忠衛 | 杏林大学 名誉教授 | |
| 千野境子 | 産経新聞社 特別記者 | |
| 皆川浩二 | (財)日本モーターボート競走会 会長 | |
| 屋山太郎 | 政治評論家 | |
| 米長邦雄 | (公社)日本将棋連盟 会長・永世棋聖 | |
| 渡部昇一 | 上智大学 名誉教授 | |
| 計9名 | | |

（五十音順/敬称略）

| アドバイザー会議委員 | | | |
|------------|-----------------------|-------------|------------------------|
| 氏名 | | 氏名 | |
| 小川健兒 | (一財)日本海事協会 名誉会長 | 松井義雄 | 読売新聞東京本社 相談役 |
| 鈴木富夫 | 出版倫理協議会 議長 | マリ・クリスティーヌ | 異文化コミュニケーター |
| 高木 剛 | (財)国際労働財団 理事長 | 三好正也 | (株)ミヨシ・ネットワークス代表取締役 会長 |
| 土井勝二 | 日本空港ビルデング(株) 代表取締役副社長 | (元・経団連事務総長) | |
| 福永達夫 | (社)日本モーターボート選手会 会長 | 山口果林 | 女優 |
| 計9名 | | | |

（五十音順/敬称略）

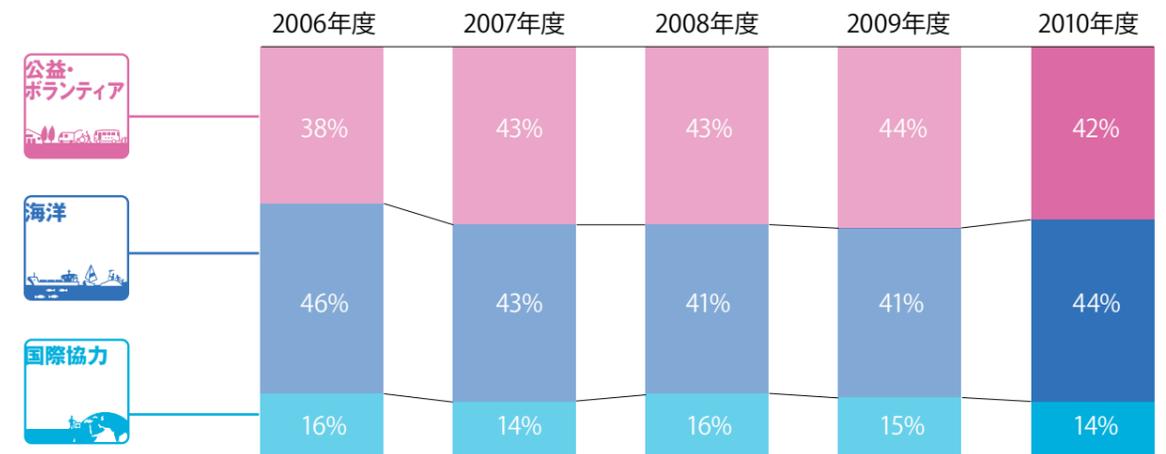


支援件数、支援額の推移

| | | 2006年度 | 2007年度 | 2008年度 | 2009年度 | 2010年度 |
|-----------|-----|------------|------------|------------|------------|------------|
| 公益・ボランティア | 件数 | 3,785 | 3,222 | 3,644 | 3,888 | 3,054 |
| | 支援額 | 11,113,617 | 10,823,373 | 9,711,635 | 10,811,753 | 9,411,303 |
| 海洋 | 件数 | 222 | 204 | 202 | 328 | 262 |
| | 支援額 | 13,311,953 | 10,781,685 | 9,269,151 | 9,985,404 | 9,989,783 |
| 国際協力 | 件数 | 57 | 49 | 59 | 66 | 63 |
| | 支援額 | 4,687,945 | 3,649,208 | 3,624,232 | 3,801,153 | 3,232,046 |
| 総額 | 件数 | 4,064 | 3,475 | 3,905 | 4,282 | 3,379 |
| | 支援額 | 29,113,515 | 25,254,268 | 22,605,018 | 24,598,310 | 22,633,132 |

支援額は千円未満を切り捨てて表示しています。

支援額比率の推移





2010年度の財務報告

貸借対照表

2011年3月31日現在

(単位: 千円)

| 科目 | 当年度 | 前年度 | 増減 |
|--------------|-------------|-------------|------------|
| I 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 現金預金 | 999,199 | 4,991,275 | ▲3,992,076 |
| 未収金 | 597,699 | 624,183 | ▲26,483 |
| 前払金 | 10,658 | 10,562 | 95 |
| 仮払金 | 4,085 | 778 | 3,306 |
| 流動資産合計 | 1,611,641 | 5,626,800 | ▲4,015,158 |
| 2. 固定資産 | | | |
| (1) 基本財産 | | | |
| 土地(基) | 13,010,467 | 14,703,073 | ▲1,692,605 |
| 預金(基) | 2,049,746 | 669,746 | 1,380,000 |
| 金銭信託(基) | 8,460,000 | 9,440,000 | ▲980,000 |
| 有価証券(基) | 5,290,333 | 5,685,426 | ▲395,092 |
| 基本財産合計 | 28,810,547 | 30,498,245 | ▲1,687,697 |
| (2) 特定資産 | | | |
| 受取交付金資金 | 905,879 | - | 905,879 |
| 貸付基金 | 204,500,000 | 204,500,000 | - |
| 貸付基金引当資産 | 9,014,900 | 2,677,200 | 6,337,700 |
| 長期貸付金 | 195,485,100 | 201,822,800 | ▲6,337,700 |
| 貸倒引当金 | ▲681,023 | ▲703,092 | 22,069 |
| 業務費平準基金引当資産 | 23,468,751 | 23,460,205 | 8,546 |
| 固定資産取得基金引当資産 | 3,676,165 | 3,676,165 | - |
| 役員退職慰労引当資産 | 198,154 | - | 198,154 |
| 退職給付引当資産 | 797,362 | 992,894 | ▲195,531 |
| 貸倒引当資産 | 681,023 | 703,092 | ▲22,069 |
| 建物(特定) | 2,353,426 | - | 2,353,426 |
| 構築物(特定) | 117,142 | - | 117,142 |
| 車両運搬具(特定) | 5,877 | - | 5,877 |
| 什器備品(特定) | 186,687 | - | 186,687 |
| 土地(特定) | 704,571 | - | 704,571 |
| ソフトウェア(特定) | 158,391 | - | 158,391 |
| 著作権(特定) | 3,524 | - | 3,524 |
| 商標権(特定) | 1,706 | - | 1,706 |
| 電話加入権(特定) | 3,299 | - | 3,299 |
| 保証金(特定) | 66 | - | 66 |
| 受取寄付金資金 | 568,831 | - | 568,831 |
| 特定資産合計 | 237,649,838 | 232,629,264 | 5,020,574 |

| 科目 | 当年度 | 前年度 | 増減 |
|---------------|-----------------|---------------|-----------------|
| (3) その他固定資産 | | | |
| 建物 | - | 2,632,199 | ▲2,632,199 |
| 構築物 | - | 127,611 | ▲127,611 |
| 機械装置 | - | 59 | ▲59 |
| 車両運搬具 | - | 9,812 | ▲9,812 |
| 什器備品 | - | 235,162 | ▲235,162 |
| 土地 | - | 704,571 | ▲704,571 |
| ソフトウェア | - | 250,626 | ▲250,626 |
| 著作権 | - | 3,524 | ▲3,524 |
| 商標権 | - | 851 | ▲851 |
| 電話加入権 | - | 3,299 | ▲3,299 |
| 保証金 | - | 2,641 | ▲2,641 |
| その他固定資産合計 | - | 3,970,360 | ▲3,970,360 |
| 固定資産合計 | 266,460,386 | 267,097,871 | ▲637,484 |
| 資産合計 | 268,072,028 | 272,724,671 | ▲4,652,642 |
| II 負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | | | |
| 未払金 | 822,322 | 1,153,918 | ▲331,596 |
| 未払法人税住民税等 | 48,295 | 79,835 | ▲31,540 |
| 前受金 | - | 1,392,600 | ▲1,392,600 |
| 預り金 | 13,532 | 10,811 | 2,720 |
| 賞与引当金 | 32,003 | 33,434 | ▲1,431 |
| 流動負債合計 | 916,153 | 2,670,600 | ▲1,754,446 |
| 2. 固定負債 | | | |
| 退職給付引当金 | 1,078,561 | 1,060,782 | 17,779 |
| 役員退職慰労引当金 | 198,154 | 156,997 | 41,156 |
| 退職給付引当金 | 880,407 | 903,784 | ▲23,376 |
| 固定負債合計 | 1,078,561 | 1,060,782 | 17,779 |
| 負債合計 | 1,994,715 | 3,731,382 | ▲1,736,666 |
| III 正味財産の部 | | | |
| 1. 指定正味財産 | 265,464,871,000 | 573,555,000 | 264,891,316,000 |
| 寄贈土地(指定) | - | 553,554 | ▲553,554 |
| 寄付金(指定) | 588,831 | 20,000 | 568,831 |
| 交付金(指定) | 264,876,038 | - | 264,876,038 |
| 指定正味財産合計 | 265,464,870 | 573,554 | 264,891,315 |
| (うち基本財産への充当額) | (28,810,547) | (573,554) | (28,236,993) |
| (うち特定資産への充当額) | (236,654,322) | (-) | (236,654,322) |
| 2. 一般正味財産 | 612,442 | 268,419,734 | ▲267,807,291 |
| (うち基本財産への充当額) | (-) | (29,924,691) | (▲29,924,691) |
| (うち特定資産への充当額) | (-) | (231,636,370) | (▲231,636,370) |
| 正味財産合計 | 266,077,313 | 268,993,289 | ▲2,915,975 |
| 負債及び正味財産合計 | 268,072,028 | 272,724,671 | ▲4,652,642 |

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

正味財産増減計算書

2010年4月1日から2011年3月31日まで

| 科目 | 当年度 | 前年度 | 増減 |
|--------------|------------|------------|-------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| 基本財産運用益 | 146,301 | 152,788 | ▲6,486 |
| 基本財産受取利息 | 146,301 | 152,788 | ▲6,486 |
| 特定資産運用益 | 626,880 | 688,082 | ▲61,201 |
| 特定資産受取利息 | 626,880 | 688,082 | ▲61,201 |
| 受取交付金 | 24,940,545 | 24,668,801 | 271,743 |
| 受取交付金 | - | 24,668,801 | ▲24,668,801 |
| 受取交付金振替額 | 24,940,545 | - | 24,940,545 |
| 事業収益 | 261,848 | 255,798 | 6,050 |
| 賃貸料収益 | 261,848 | 255,798 | 6,050 |
| 雑収益 | 14,507 | 19,124 | ▲4,617 |
| 受取利息 | 3,603 | 12,339 | ▲8,736 |
| 雑収益 | 10,904 | 6,784 | 4,119 |
| 経常収益計 | 25,990,082 | 25,784,594 | 205,488 |
| (2) 経常費用 | | | |
| 事業費 | 25,081,243 | 27,052,952 | ▲1,971,709 |
| 貸付業務費 | 13,162 | 14,167 | ▲1,005 |
| 支払補助金 | 17,949,898 | 19,547,285 | ▲1,597,387 |
| 海外協力援助費 | 4,020,009 | 4,334,244 | ▲314,234 |
| 国内協力援助費 | 663,226 | 716,781 | ▲53,555 |
| 情報公開費 | 597,426 | 628,659 | ▲31,232 |
| 調査研究費 | 773,221 | 805,119 | ▲31,897 |
| ビル運営費 | 287,765 | 265,814 | 21,951 |
| 事業管理費 | 776,533 | 740,880 | 35,652 |
| 管理費 | 1,232,563 | 1,372,589 | ▲140,025 |
| 給与費 | 344,881 | 363,881 | ▲19,000 |
| 役員報酬 | 159,097 | 172,135 | ▲13,038 |
| 職員給 | 143,931 | 155,462 | ▲11,531 |
| 嘱託給 | 41,770 | 36,097 | 5,672 |
| 臨時雇賃金 | 82 | 185 | ▲102 |
| 福利厚生費 | 66,418 | 64,869 | 1,549 |
| 賞与引当金繰入額 | 7,514 | 6,741 | 773 |
| 職員賞与引当金繰入額 | 7,514 | 6,741 | 773 |
| 貸倒引当金繰入額 | - | 52,142 | ▲52,142 |
| 退職給付費用 | 128,679 | 146,801 | ▲18,122 |
| 役員退職慰労金 | 54,234 | 34,392 | 19,842 |
| 職員退職給付費用 | 74,444 | 112,408 | ▲37,964 |
| 旅費交通費 | 34,753 | 45,506 | ▲10,753 |
| 事務諸費 | 153,712 | 166,645 | ▲12,932 |
| 諸謝金 | 18,422 | 18,423 | ▲1 |
| 調査費 | 4,836 | 7,059 | ▲2,222 |
| 減価償却費 | 291,754 | 310,273 | ▲18,519 |
| 雑費 | 181,590 | 190,244 | ▲8,654 |
| 経常費用計 | 26,313,806 | 28,425,541 | ▲2,111,734 |
| 当期経常増減額 | ▲323,723 | ▲2,640,946 | 2,317,223 |

| 科目 | 当年度 | 前年度 | 増減 |
|----------------|--------------|-------------|--------------|
| 2. 経常外増減の部 | | | |
| (1) 経常外収益 | | | |
| 固定資産受贈益 | 553,554 | - | 553,554 |
| 固定資産受贈益振替額 | 553,554 | - | 553,554 |
| 受取交付金 | 1,301,275 | - | 1,301,275 |
| 受取交付金振替額 | 1,301,275 | - | 1,301,275 |
| 貸倒引当金取崩益 | 22,069 | - | 22,069 |
| 貸倒引当金取崩益 | 22,069 | - | 22,069 |
| その他経常外収益 | 476,305 | 333,027 | 143,277 |
| 支払補助金返還収益 | 326,816 | 139,197 | 187,619 |
| 為替差益 | 88 | 68 | 20 |
| 雑収益 | 792 | 193,762 | ▲192,970 |
| 雑収益振替額 | 148,607 | - | 148,607 |
| 経常外収益計 | 2,353,204 | 333,027 | 2,020,176 |
| (2) 経常外費用 | | | |
| 基本財産寄付譲渡額 | 1,692,605 | - | 1,692,605 |
| 基本財産土地寄付譲渡額 | 1,692,605 | - | 1,692,605 |
| 特定資産寄付譲渡額 | 158,284 | - | 158,284 |
| 建物寄付譲渡額 | 136,385 | - | 136,385 |
| 建物付属設備寄付譲渡額 | 21,751 | - | 21,751 |
| 機械装置寄付譲渡額 | 29 | - | 29 |
| 什器備品寄付譲渡額 | 117 | - | 117 |
| 電話加入権寄付譲渡額 | - | - | - |
| 特定資産除却損 | 3,939 | - | 3,939 |
| 建物付属設備除却損 | 1,332 | - | 1,332 |
| 什器備品除却損 | 32 | - | 32 |
| 保証金除却損 | 2,575 | - | 2,575 |
| その他固定資産除却損 | - | 1,270 | ▲1,270 |
| 建物付属設備除却損 | - | 947 | ▲947 |
| 什器備品除却損 | - | 248 | ▲248 |
| 電話加入権除却損 | - | 74 | ▲74 |
| その他経常外費用 | 149,437 | 89,891 | 59,546 |
| 為替差損 | 830 | 1,337 | ▲506 |
| 雑費 | 148,607 | 88,554 | 60,052 |
| 指定正味財産への調整振替額 | 267,784,209 | - | 267,784,209 |
| 経常外費用計 | 269,788,477 | 91,161 | 269,697,315 |
| 当期経常外増減額 | ▲267,435,272 | 241,865 | ▲267,677,138 |
| 税引前当期一般正味財産増減額 | ▲267,758,996 | ▲2,399,080 | ▲265,359,915 |
| 法人税・住民税及び事業税 | 48,295 | 79,835 | ▲31,540 |
| 当期一般正味財産増減額 | ▲267,807,291 | ▲2,478,916 | ▲265,328,375 |
| 一般正味財産期首残高 | 268,419,734 | 270,898,650 | ▲2,478,916 |
| 一般正味財産期末残高 | 612,442 | 268,419,734 | ▲267,807,291 |
| II 指定正味財産増減の部 | | | |
| 受取交付金(指) | 589,423 | - | 589,423 |
| 受取交付金(指) | 23,448,211 | - | 23,448,211 |
| 基本財産運用益(指) | 4,907 | - | 4,907 |
| 特定資産運用益(指) | 8,546 | - | 8,546 |
| 一般正味財産への振替額(指) | ▲26,943,982 | - | ▲26,943,982 |
| 一般正味財産からの調整振替額 | 267,784,209 | - | 267,784,209 |
| 当期指定正味財産増減額 | 264,891,315 | - | 264,891,315 |
| 指定正味財産期首残高 | 573,554 | 573,554 | - |
| 指定正味財産期末残高 | 265,464,870 | 573,554 | 264,891,315 |
| III 正味財産期末残高 | 266,077,313 | 268,993,289 | ▲2,915,975 |

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

キャッシュ・フロー計算書

2010年4月1日から2011年3月31日まで

(単位:千円)

| 科目 | 当年度 | 前年度 | 増減 |
|--------------------|------------|------------|------------|
| I 事業活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 1. 事業活動収入 | | | |
| 基本財産運用収入 | 145,041 | 145,943 | ▲901 |
| 基本財産利息収入 | 145,041 | 145,943 | ▲901 |
| 特定資産運用収入 | 634,072 | 665,205 | ▲31,133 |
| 特定資産利息収入 | 634,072 | 665,205 | ▲31,133 |
| 交付金収入 | 23,448,211 | 24,881,423 | ▲1,433,212 |
| 交付金収入 | 23,448,211 | 24,881,423 | ▲1,433,212 |
| 事業収入 | 261,848 | 255,798 | 6,050 |
| 賃貸料収入 | 261,848 | 255,798 | 6,050 |
| 雑収入 | 931,737 | 354,232 | 577,504 |
| 受取利息収入 | 3,800 | 14,487 | ▲10,686 |
| 雑収入 | 927,936 | 339,744 | 588,191 |
| 事業活動収入計 | 25,420,910 | 26,302,602 | ▲881,692 |
| 2. 事業活動支出 | | | |
| 事業費支出 | 25,454,123 | 27,869,126 | ▲2,415,003 |
| 貸付業務費支出 | 13,223 | 14,111 | ▲887 |
| 補助金支出 | 18,158,670 | 19,713,321 | ▲1,554,651 |
| 海外協力援助費支出 | 4,077,143 | 4,885,508 | ▲808,365 |
| 国内協力援助費支出 | 673,216 | 800,003 | ▲126,787 |
| 情報公開費支出 | 614,929 | 598,659 | 16,270 |
| 調査研究費支出 | 796,716 | 826,213 | ▲29,496 |
| ビル運営費支出 | 285,092 | 260,002 | 25,090 |
| 事業管理費支出 | 835,131 | 771,306 | 63,825 |
| 管理費支出 | 868,537 | 906,675 | ▲38,137 |
| 給与費支出 | 350,784 | 380,505 | ▲29,720 |
| 役員報酬支出 | 158,673 | 170,835 | ▲12,161 |
| 職員給支出 | 150,316 | 172,296 | ▲21,979 |
| 嘱託給支出 | 41,920 | 37,082 | 4,837 |
| 臨時雇賃金支出 | ▲126 | 290 | ▲417 |
| 福利厚生費支出 | 69,145 | 68,055 | 1,090 |
| 退職給付支出 | 50,506 | 20,443 | 30,063 |
| 旅費交通費支出 | 34,849 | 45,593 | ▲10,743 |
| 事務諸費支出 | 154,563 | 166,962 | ▲12,399 |
| 諸謝金支出 | 18,384 | 17,838 | 545 |
| 調査費支出 | 5,793 | 7,663 | ▲1,870 |
| ビル運営費支出 | - | 3,722 | ▲3,722 |
| 雑費支出 | 184,509 | 195,890 | ▲11,380 |
| 雑支出 | 148,607 | 89,891 | 58,715 |
| 為替差損支出 | - | 1,337 | ▲1,337 |
| 雑支出 | 148,607 | 88,554 | 60,052 |
| 事業活動支出計 | 26,471,268 | 28,865,693 | ▲2,394,424 |
| 小計 | ▲1,050,357 | ▲2,563,090 | 1,512,732 |
| 法人税等の支払額 | 79,835 | 86,848 | ▲7,012 |
| 事業活動によるキャッシュ・フロー | ▲1,130,193 | ▲2,649,938 | 1,519,745 |

| 科目 | 当年度 | 前年度 | 増減 |
|----------------------|------------|------------|------------|
| II 投資活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 1. 投資活動収入 | | | |
| 特定資産取崩収入 | 24,945,656 | 47,049 | 24,898,607 |
| 受取交付金資金取崩収入 | 24,667,102 | - | 24,667,102 |
| 退職給付引当資産取崩収入 | 107,877 | 47,049 | 60,828 |
| 貸倒引当資産取崩収入 | 22,069 | - | 22,069 |
| 受取寄付金資金取崩収入 | 148,607 | - | 148,607 |
| 投資活動収入計 | 24,945,656 | 47,049 | 24,898,607 |
| 2. 投資活動支出 | | | |
| 固定資産取得支出 | - | 137,824 | ▲137,824 |
| 固定資産取得支出 | - | 137,824 | ▲137,824 |
| 特定資産支出 | 27,807,641 | 155,092 | 27,652,549 |
| 受取交付金資金取得支出 | 27,093,598 | - | 27,093,598 |
| 退職給付引当資産支出 | 110,500 | 102,000 | 8,500 |
| 貸倒引当資産支出 | - | 53,092 | ▲53,092 |
| 固定資産取得支出 | 14,119 | - | 14,119 |
| 受取寄付金資金取得支出 | 589,423 | - | 589,423 |
| 投資活動支出計 | 27,807,641 | 292,917 | 27,514,724 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | ▲2,861,985 | ▲245,868 | ▲2,616,116 |
| III 財務活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 1. 財務活動収入 | | | |
| 財務活動収入計 | - | - | - |
| 2. 財務活動支出 | | | |
| 財務活動支出計 | - | - | - |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | - | - | - |
| IV 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 102 | 2,463 | ▲2,361 |
| V 現金及び現金同等物の増減額 | ▲3,992,076 | ▲2,893,343 | ▲1,098,732 |
| VI 現金及び現金同等物の期首残高 | 4,991,275 | 7,884,618 | ▲2,893,343 |
| VII 現金及び現金同等物の期末残高 | 999,199 | 4,991,275 | ▲3,992,076 |

(注) 1. 資金の範囲: 資金の範囲には現金及び現金同等物を含めています。
2. 重要な非資金取引: 寄付譲渡した固定資産が1,850,890,468円あります。
3. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

財産目録

2011年3月31日現在

(単位:千円)

| 科目 | 摘要 | 金額 |
|-------------|---------|-------------|
| I 資産の部 | | |
| 1. 流動資産 | | |
| 現金預金 | | 999,199 |
| 現金 | 180 | |
| 普通預金 | 933,754 | |
| 外貨預金(ドル) | 65,264 | |
| 普通預金ソリー寄付金口 | 0 | |
| 未収金 | | 597,699 |
| 未収補助金 | | 344,371 |
| 長期貸付金未収利息 | | 211,297 |
| 預金未収利息 | | 4,916 |
| 有価証券未収利息 | | 17,903 |
| その他未収金 | | 19,210 |
| 前払金 | | 10,658 |
| 仮払金 | | 4,085 |
| 流動資産合計 | | 1,611,641 |
| 2. 固定資産 | | |
| (1) 基本財産 | | |
| 土地(基) | | 13,010,467 |
| 預金(基) | | 2,049,746 |
| 定期預金 | | 2,049,746 |
| 金銭信託(基) | | 8,460,000 |
| 金銭信託 | | 8,460,000 |
| 有価証券(基) | | 5,290,333 |
| 特殊債券 | | 3,400,000 |
| 地方債券 | | 1,890,333 |
| 基本財産合計 | | 28,810,547 |
| (2) 特定資産 | | |
| 受取交付金資金 | | 905,879 |
| 普通預金 | | 1,085,025 |
| 定期預金 | | 1,000,000 |
| 外貨預金(ドル) | | 5,865 |
| 未収交付金 | | 105,283 |
| 前受金 | | ▲1,290,294 |
| 貸付基金 | | 204,500,000 |
| 貸付基金引当資産 | | 9,014,900 |
| 定期預金(造船) | | 8,814,900 |
| 特殊債券 | | 200,000 |
| 長期貸付金 | | 195,485,100 |
| 長期貸付金(造船関係) | | 195,485,100 |
| 貸倒引当金 | | ▲681,023 |
| 造船関係 | | ▲681,023 |
| 業務費平衡基金引当資産 | | 23,468,751 |
| 普通預金 | | 1,769,252 |
| 定期預金 | | 2,217,134 |
| 金銭信託 | | 4,200,000 |
| 特殊債券 | | 13,894,914 |
| 地方債券 | | 1,387,451 |

| 科目 | 摘要 | 金額 |
|--------------|----|-------------|
| 固定資産取得基金引当資産 | | 3,676,165 |
| 定期預金 | | 876,165 |
| 特殊債券 | | 2,800,000 |
| 役員退職慰労引当資産 | | 198,154 |
| 定期預金 | | 198,154 |
| 退職給付引当資産 | | 797,362 |
| 普通預金 | | 1,438 |
| 定期預金 | | 795,923 |
| 貸倒引当資産 | | 681,023 |
| 定期預金 | | 681,023 |
| 建物(特定) | | 2,353,426 |
| 構築物(特定) | | 117,142 |
| 車両運搬具(特定) | | 5,877 |
| 什器備品(特定) | | 186,687 |
| 土地(特定) | | 704,571 |
| ソフトウェア(特定) | | 158,391 |
| 著作権(特定) | | 3,524 |
| 商標権(特定) | | 1,706 |
| 電話加入権(特定) | | 3,299 |
| 保証金(特定) | | 66 |
| 受取寄付金資金 | | 568,831 |
| 普通預金寄付金口 | | 194,795 |
| 普通預金ジノマー寄付金口 | | 14,618 |
| 普通預金ソリー寄付金口 | | 11,217 |
| 普通預金災害支援寄付金口 | | 348,199 |
| その他未収金(特定) | | 0 |
| 特定資産合計 | | 237,649,838 |
| 固定資産合計 | | 266,460,386 |
| 資産合計 | | 268,072,028 |
| II 負債の部 | | |
| 1. 流動負債 | | |
| 未払金 | | 822,322 |
| 未払法人税住民税等 | | 48,295 |
| 預り金 | | 13,532 |
| 賞与引当金 | | 32,003 |
| 流動負債合計 | | 916,153 |
| 2. 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | | 1,078,561 |
| 役員退職慰労引当金 | | 198,154 |
| 退職給付引当金 | | 880,407 |
| 固定負債合計 | | 1,078,561 |
| 負債合計 | | 1,994,715 |
| 正味財産 | | 266,077,313 |

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。



収支決算書

2010年4月1日から2011年3月31日まで

(単位: 千円)

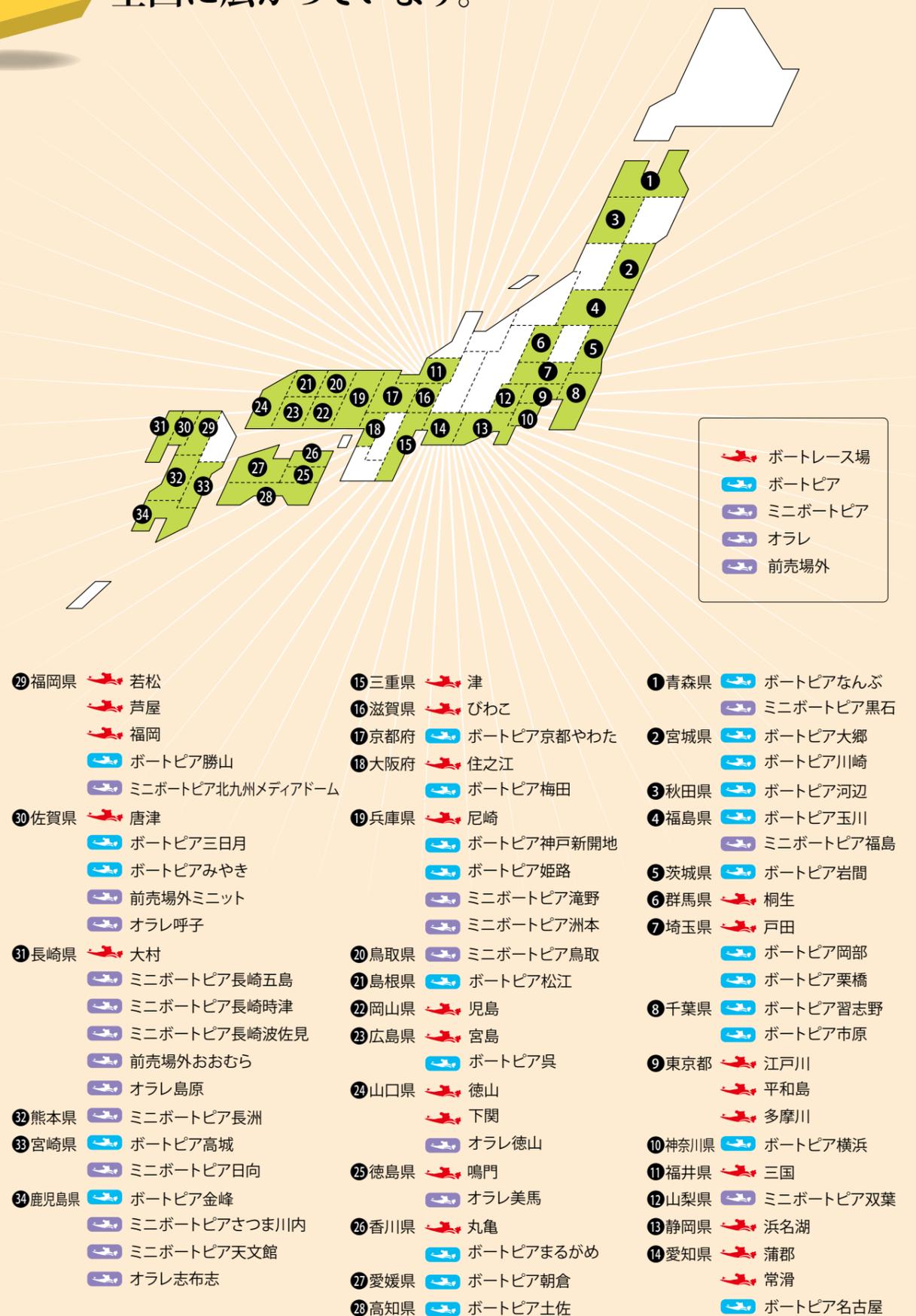
| 科目 | 予算額 | 決算額 | 差異 |
|-----------------|------------|------------|------------|
| I 収入の部 | | | |
| 基本財産運用収入 | 153,186 | 146,301 | ▲6,884 |
| 基本財産利息収入 | 153,186 | 146,301 | ▲6,884 |
| 特定資産運用収入 | 609,569 | 626,880 | ▲17,311 |
| 特定資産利息収入 | 609,569 | 626,880 | ▲17,311 |
| 交付金収入 | 22,803,230 | 24,648,791 | 1,845,561 |
| 交付金収入 | 22,803,230 | 24,648,791 | 1,845,561 |
| 事業収入 | 253,011 | 261,848 | 8,837 |
| 賃貸料収入 | 253,011 | 261,848 | 8,837 |
| 雑収入 | 512,300 | 490,812 | ▲21,487 |
| 受取利息収入 | 12,300 | 3,603 | ▲8,696 |
| 為替差益収入 | - | 88 | 88 |
| 雑収入 | 500,000 | 487,120 | ▲12,879 |
| 特定資産取崩収入 | 5,117,920 | 129,946 | ▲4,987,973 |
| 業務費平衡基金引当資産取崩収入 | 5,000,000 | - | ▲5,000,000 |
| 退職給付引当資産取崩収入 | 107,920 | 107,877 | ▲42 |
| 貸倒引当資産取崩収入 | 10,000 | 22,069 | 12,069 |
| 当期収入合計 | 29,449,216 | 26,304,580 | ▲3,144,635 |
| 前期繰越収支差額 | 1,807,738 | 2,989,634 | 1,181,896 |
| 前期繰越収支差額調整額 | - | ▲2,252,786 | ▲2,252,786 |
| 収入合計 | 31,256,954 | 27,041,428 | ▲4,215,525 |
| II 支出の部 | | | |
| 事業費支出 | 28,843,413 | 25,142,474 | ▲3,700,938 |
| 貸付業務費支出 | 49,000 | 13,162 | ▲35,837 |
| 補助金支出 | 20,100,000 | 17,949,898 | ▲2,150,102 |
| 海外協力援助費(助成金)支出 | 5,000,000 | 4,020,009 | ▲979,990 |
| 国内協力援助費(助成金)支出 | 700,000 | 663,226 | ▲36,773 |
| 情報公開費支出 | 795,000 | 597,426 | ▲197,573 |
| 調査研究費支出 | 960,000 | 773,221 | ▲186,778 |
| ビル運営費支出 | 308,168 | 287,765 | ▲20,402 |
| 海洋船舶ビル運営費支出 | 107,341 | 102,571 | ▲4,769 |
| 日本財団ビル運営費支出 | 200,827 | 185,193 | ▲15,633 |
| 事業管理費支出 | 931,245 | 837,764 | ▲93,480 |
| 給与費支出 | 684,733 | 618,848 | ▲65,884 |
| 職員給支出 | 598,551 | 538,283 | ▲60,267 |
| 嘱託給支出 | 82,151 | 80,564 | ▲1,586 |
| 臨時雇賃金支出 | 4,031 | - | ▲4,031 |
| 福利厚生費支出 | 92,511 | 89,388 | ▲3,122 |
| 法定福利費支出 | 81,887 | 81,830 | ▲56 |
| 福利厚生費支出 | 10,624 | 7,558 | ▲3,065 |
| 退職給付支出 | 73,343 | 73,325 | ▲17 |
| 調査費支出 | 26,538 | 15,084 | ▲11,453 |
| 調査旅費支出 | 13,042 | 11,933 | ▲1,108 |
| 調査経費支出 | 13,496 | 3,151 | ▲10,344 |
| 雑費支出 | 54,120 | 41,117 | ▲13,002 |

| 科目 | 予算額 | 決算額 | 差異 |
|----------------|------------|------------|------------|
| 管理費支出 | 1,012,520 | 863,228 | ▲149,291 |
| 給与費支出 | 389,699 | 351,622 | ▲38,076 |
| 役員報酬支出 | 173,100 | 159,097 | ▲14,002 |
| 職員給支出 | 169,161 | 150,672 | ▲18,488 |
| 嘱託給支出 | 43,407 | 41,770 | ▲1,636 |
| 臨時雇賃金支出 | 4,031 | 82 | ▲3,948 |
| 福利厚生費支出 | 72,608 | 66,418 | ▲6,189 |
| 退職給付支出 | 52,077 | 51,871 | ▲205 |
| 役員退職慰労金支出 | 13,087 | 13,078 | ▲8 |
| 職員退職給付支出 | 38,990 | 38,793 | ▲196 |
| 旅費交通費支出 | 54,975 | 34,753 | ▲20,221 |
| 事務諸費支出 | 193,169 | 153,712 | ▲39,456 |
| 諸謝金支出 | 21,986 | 18,422 | ▲3,563 |
| 調査費支出 | 8,600 | 4,836 | ▲3,763 |
| 雑費支出 | 219,406 | 181,590 | ▲37,815 |
| 雑支出 | 510,000 | 149,437 | ▲360,562 |
| 為替差損支出 | - | 830 | 830 |
| 雑支出 | 510,000 | 148,607 | ▲361,392 |
| 固定資産取得支出 | 220,000 | - | ▲220,000 |
| 固定資産取得支出 | 220,000 | - | ▲220,000 |
| 特定資産取得支出 | 120,500 | 110,500 | ▲10,000 |
| 貸付基金引当資産支出 | 10,000 | - | ▲10,000 |
| 退職給付引当資産支出 | 110,500 | 110,500 | - |
| 法人税、住民税及び事業税支出 | 101,800 | 48,295 | ▲53,504 |
| 法人税、住民税及び事業税支出 | 101,800 | 48,295 | ▲53,504 |
| 予備費 | 448,721 | - | ▲448,721 |
| 当期支出合計 | 31,256,954 | 26,313,936 | ▲4,943,017 |
| 当期収支差額 | ▲1,807,738 | ▲9,355 | 1,798,382 |
| 次期繰越収支差額 | - | 727,491 | 727,491 |

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。



ボートレースを楽しめるスペースが
全国に広がっています。





日本財団
The Nippon Foundation

日本財団は、
2011年4月1日から
公益財団法人になりました。

〒107-8404 東京都港区赤坂 1-2-2 Tel:03-6229-5111 Fax:03-6229-5110
E-mail:cc@ps.nippon-foundation.or.jp

日本財団

検索



このパンフレットは天然植物油
大豆油インキで印刷しています

編集・制作 / 日本財団
情報グループ 編集企画チーム
デザイン / goodesign
2011年6月30日